

# 野生を野生のままに

人がエサを与えないで。



**⚠ 野鳥や野生動物にエサをあげないでください**

なぜ、野生の生き物にエサをあげてはいけないのでしょうか？「かわいいからあげる」「かわいそうだからあげる」こんな考えだけでエサを与えるあなたの行動が生き物を苦しめ、まわりの人たちへ迷惑をかけることとなります。野鳥や野生動物は自然のままの状態にいることが一番幸せです。みなさんのご理解ご協力をお願いします。

札幌市

## あなたの何気ない行動が 野鳥・野生動物を苦しめることになります。

人と野鳥・野生動物がよい関係、よい距離感をもってお互い生きていくためには「可愛いから」「エサをとれずにかわいそうだから」といった安易な考えでエサを与えることは、決してよいことではありません。野鳥・野生動物は、生まれながら自分が生きていくために、自然の中で自然のままエサをとり、子孫を残していく営みを守ってきています。

それを人の手で乱していくことは、野鳥・野生動物を苦しめているのではないのでしょうか？

エサやりの行動が野鳥・野生動物にどんな影響をもたらしているのか考えてみましょう。

### なぜエサを与えてはいけないの？

野鳥や野生動物へのエサやりは、一見ほほえましく生物を愛護している行動に見えますが、様々な問題を引き起こしてしまいます。

自分で食べ物を見つけることが出来なくなる。

人を怖がらなくなり、食べ物をねだったり、襲ってくるようになり、やがて駆除されてしまう。

人の食べ物を食べて栄養過多になり、太りすぎから病気になって本来の寿命より短くなる。

いずれも、野鳥・野生動物の命を脅かす重大な問題です。



### 私たちに身近な野鳥を例にとって考えてみましょう



カラスの繁殖期は年1回とされていますが、エサを与えられると1回の産卵でたくさんの卵を産み、個体数が増えてしまいます。

繁殖期に幼鳥を守るために人を威嚇したり、人を怖がらなくなったカラスがごみステーションを荒らすようになります。



エサを与えられて栄養状態がよくなったハトは、繁殖を繰り返すようになり、個体数が通常よりも増加します。

また、人を怖がらなくなったハトがベランダに来て営巣し、フンや羽毛で汚すだけでなく、病気やアレルギー疾患を誘発する可能性があります。